

解析対象期間:

2024年1月1日～2月27日

解析手法: Kato (2024, GRL)

波形相関ありのDD法

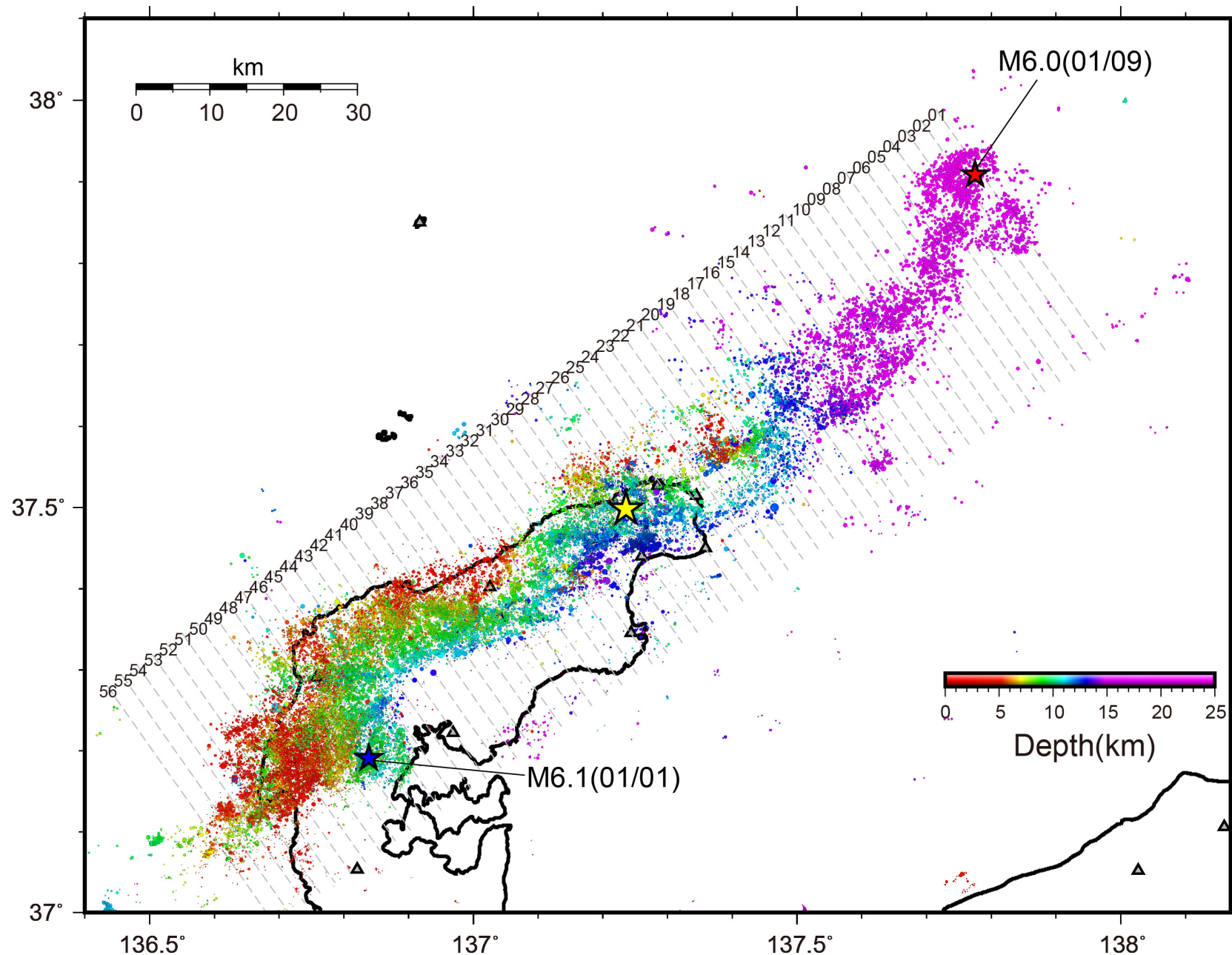
初期震源: 観測点補正值導入

イベント数: 48,880個

黄色の☆: M5.9

(2024/01/01 16:10:09)

※震源断層モデル: 日本海プロジェクト



2024年1月1日M7.6地震後の地震活動

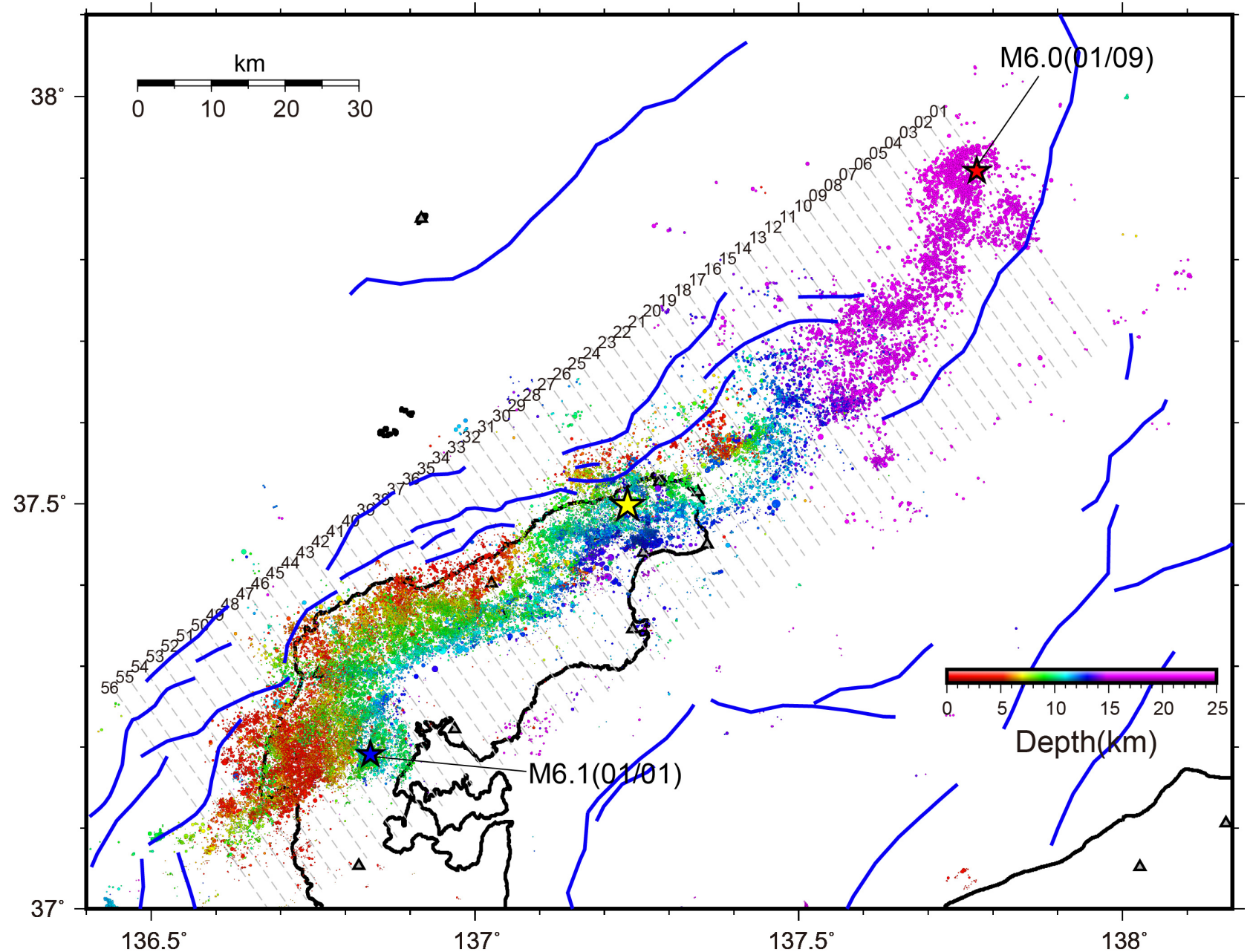
解析対象期間:
2024年1月1日～2月27日

解析手法: Kato (2024, GRL)
波形相関ありのDD法
初期震源: 観測点補正值導入

イベント数: 48,880個

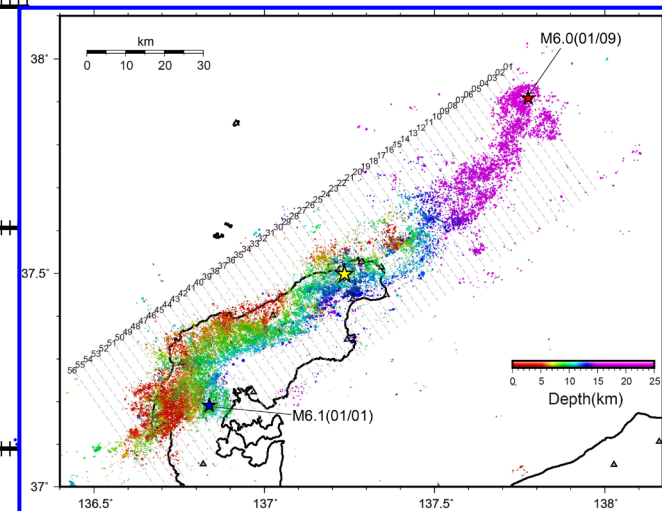
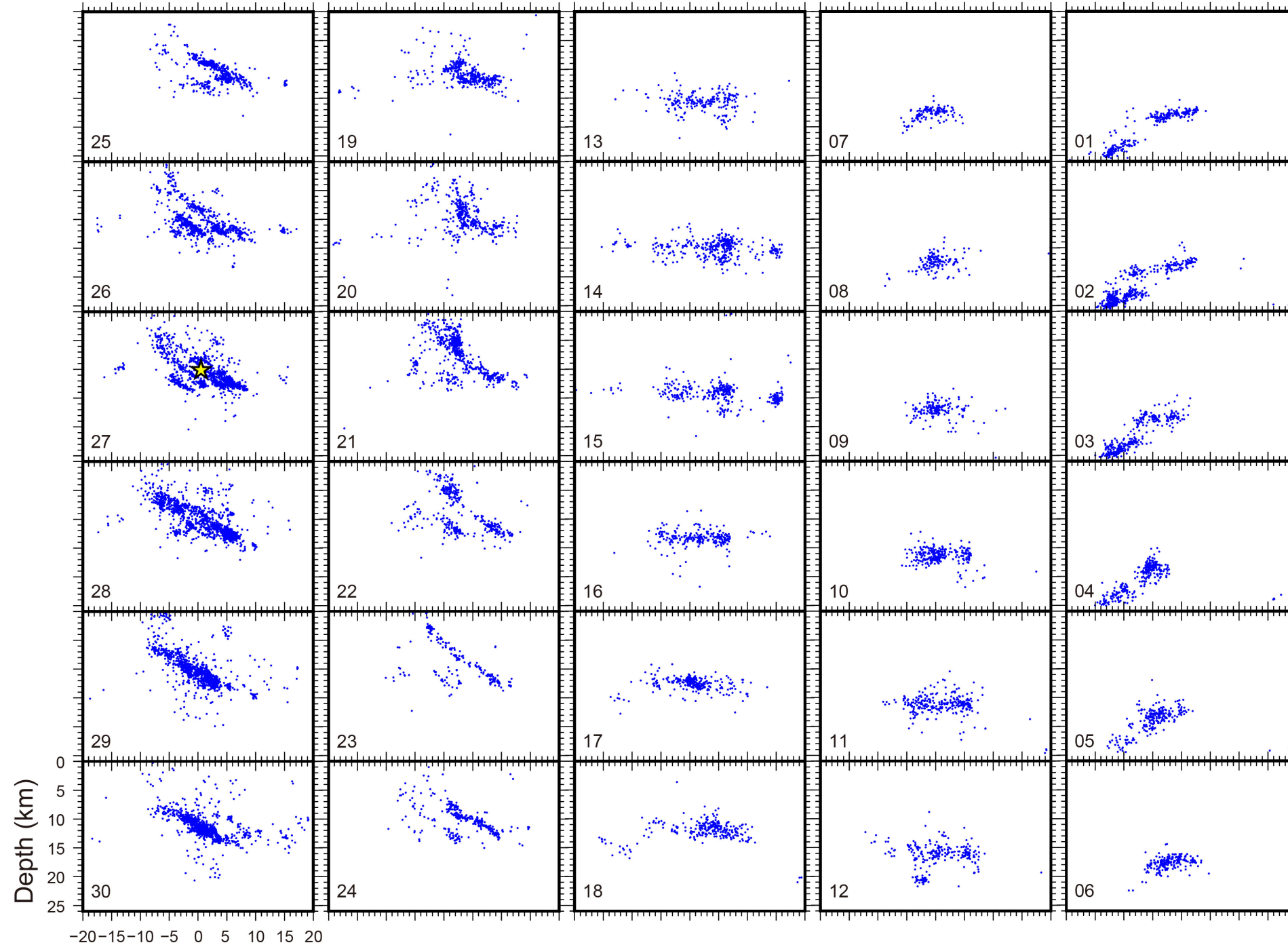
黄色の☆: M5.9
(2024/01/01 16:10:09)

※震源断層モデル: 日本海プロジェクト

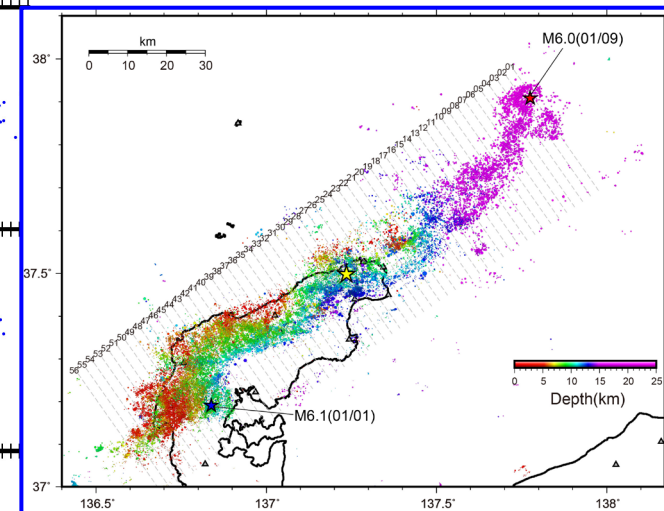
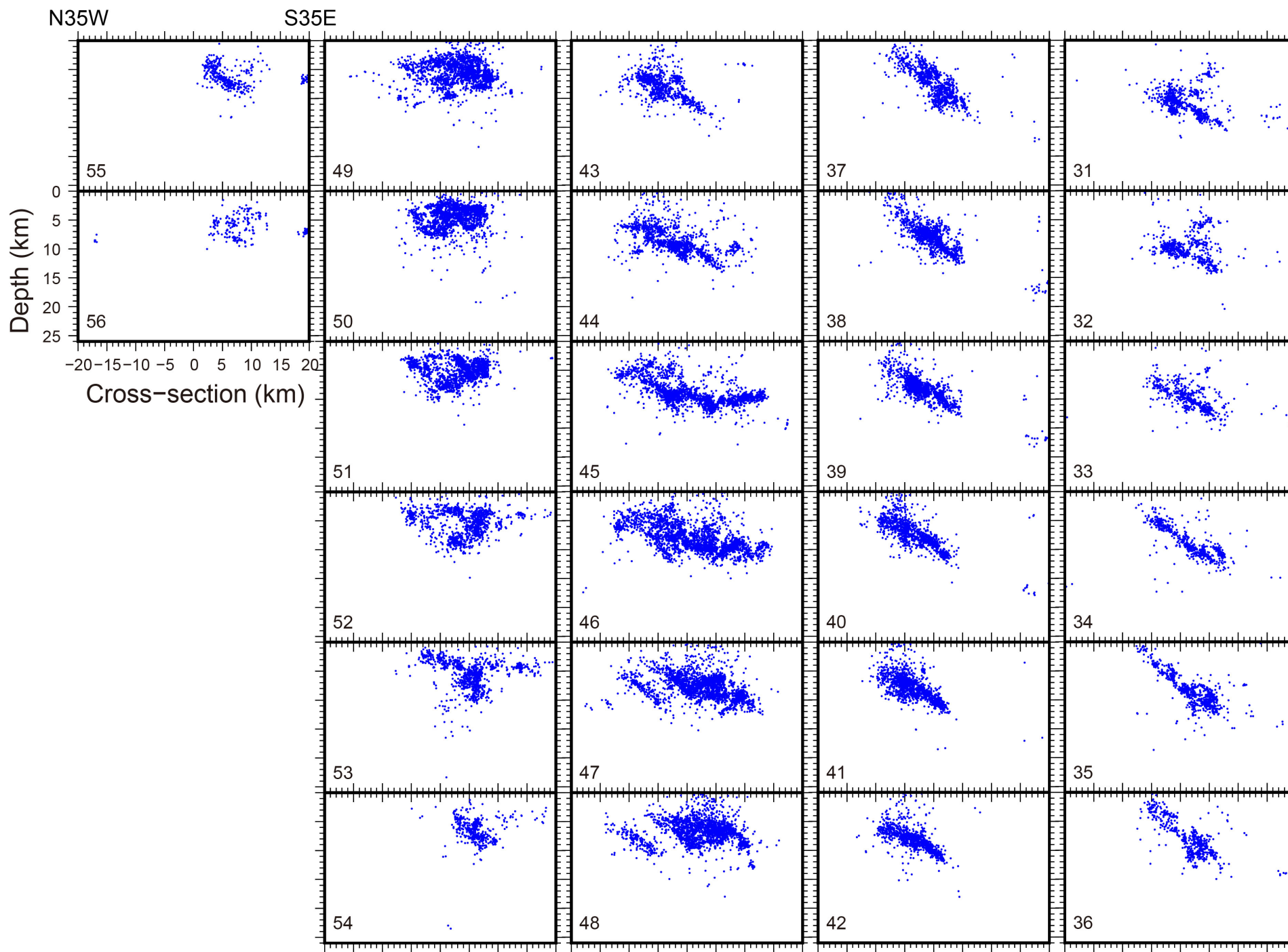


N35W

S35E



CS21～29:
断層面の傾斜角が地表付近でやや高角度になり、地表付近まで延びる
(観測点近傍では地表付近まで延びる分布が見える)

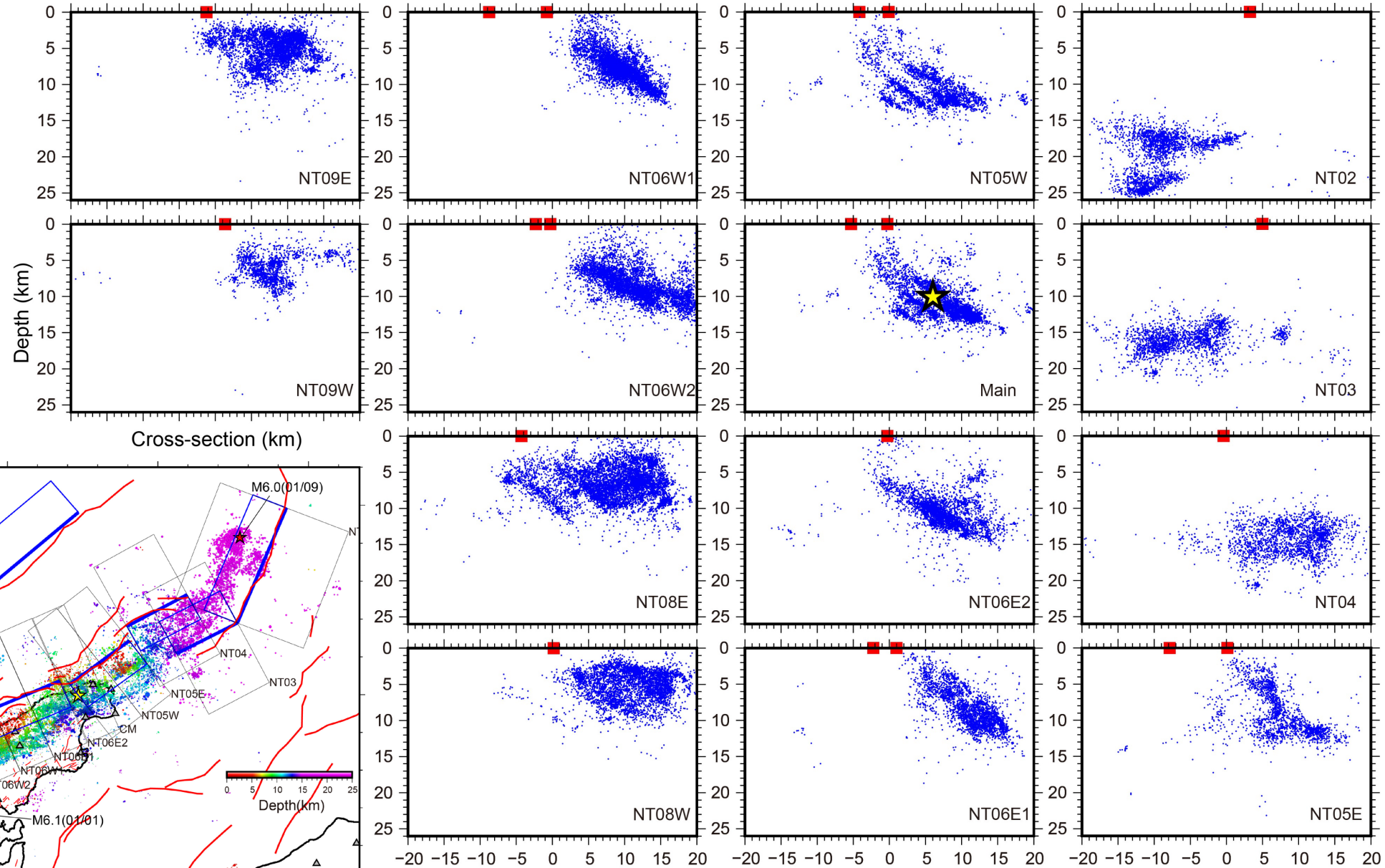


CS34～39:
地表付近まで延びる直線的な分布

CS45～53:
共役断層系が存在する複雑な分布

2024年1月1日M7.6地震後の地震活動

解析対象期間:
2024年1月1日～2月27日



■: 震源断層モデル(日本海プロジェクト)の地表トレース位置

珠洲市直下のクラスター活動

- 高い活動度で継続する微小クラスター（活動域b内）
- 群発的な活動（時々静穏化）
- 震央分布：既知の活断層トレースに沿う

灰色の点：気象庁カタログ ($M \geq 1$)
(2020年11月～2024年M7.6前まで)

